



第8回目になります青枢通信は、平岡祥子（さちこ）さんの登場です。少し時間が経過してしまいましたが、2015年5月の銀座での個展にお邪魔して、取材をさせていただき、その後何度か電話やFAXでもお話を聞かせていただきました。

平岡さんは展覧会の中枢を担う青枢会の役員であり、気さくな人柄ゆえに、会の仕事を多方面に引き受けていただいて会を支えてくださっています。本当にありがとうございます。

そして作品も回を追うごとに劇的に進化、37回展では大賞を受賞されています。そんな平岡さんの創作の原点と経緯を紹介する事で、制作の秘密に少しでも迫れば良いと思います。

銀座のギャルリ・サロンドエにて、作品の前でポーズしていただきました。



もともと、お父さまが趣味で絵を描かれていた影響で、画集などを子供の頃から見ているので、絵画が好きだったのだそうです。中学時代には人物を細密に描いたりしていたのですが、先輩が美大受験に苦戦しているのを知り、本が好きだった事もあって、方向転換、出版業界で仕事を始められています。（お父さまの仕事の都合で、幼稚園の時から転校が12回もあり、大学になって初めて4年間同じ学舎で学べたとか。）結婚したご主人も転勤族で、海外生活まで経験されています。そして福岡に転勤になってから、ご主人が油彩の臭いが苦手だという事で、水彩画の先生に師事されます。

しかし、油彩的な表現から水彩に移行して、何か物足りなさを感じていた時に、臭いもなく油彩的なマチエールも可能なアクリル絵具を知り、のめり込んでいったそうです。水彩の先生からも、絵肌の工夫が大事である事を指南されたことも影響が大きかったとか。

そんなタイミングで、NHKのハガキ絵の先生との出会い、そこから扇面展とガラス絵展を薦められて出品した事から、

此木先生と出会われ、青枢に誘われる嬉しい偶然へと繋がっていったのだそうです。

青枢展は30回展からの出品で、東京都美術館の壁面・作品の大きさに圧倒されながらも、徐々に大きな画面に慣れて、独自の工夫をしながらの絵づくりを楽しまれていらっしゃいます。

平岡さんの会でのお仕事を振り返ると、引っ越しが多くて沢山の方達と接してこられたが故の気配りの細やかさを感じます。また同時に、興味を持つと即行動して吸収してしまうフットワークが素晴らしく、それが作品を進化させていく様を見ると、一期一会を大切にされてきた体験が、制作に反映されているんだなと思います。

なかなか出来ない事で、大いに見習いたいものです。



上) 或る日の午後（ガラス絵）
テーブルとガラス瓶などが描かれた静物で、配色・コンポジションも素晴らしくお洒落に決まった作品です。ガラス絵のクリアな発色とセンスの良さが際立っていますね。こんな絵を眺めながらお茶を飲みたいなと感じる作品です。

右) 「風の追憶」2012年制作
162×260.6cm

ビル群が立ち並び、ウォーターフロントに映る陰影が印象的な作品。戯れたようなマチエールをポイントに覗き込んだような構図も大胆。100号を2枚つなげた大作です。





平岡さんの作品には「風」や「時間」というタイトルが多くつけられています。海外も含めて、幾多の場所で過ごされ、多くの人達と触れ合ってきた経験が、その時々を過ぎ去って行った、風の様な記憶を画面に定着させる作業として、作品制作は平岡さんの中で位置づけられているのかもしれないと感じました。

静物にも風景にも一貫して流れる空気感のようなものが心地よく、マチエールとコラージュが初期の頃は前面に出ていた感じでしたが、近作では自然に馴染んで、鑑賞者の想像をかきたてるゆとりが生まれているようです。

個展を終えられて、その前とは自分の中で大きな違いがあると語られた平岡さん。今後、ここからどういう展開になっていくのか楽しみです。

左) ブラインド 2015 制作 37×28cm

右) 天使-1 2015 制作 54.5×42.4cm

中央) 風がたり 2013 制作 162×260.6cm

建築物のある風景で、絵具の飛沫が流れる風や人々に感じる、都市をモチーフにされる平岡さんの真骨頂が発揮された大作。

下) 驟雨(しゅうう) 2015 制作 35.6×43.2cm

ビル群の上空で広がる雨雲とにわか雨を、ポエティックに表現された、素敵な作品です。



編

集

後

記

前号から少し期間が開いてしまいましたが、青枢通信 8号に辿り着きました。先日の総会で事務局の一新が提案され、新たに滝澤さんが事務局長に就任される事となり、また新しい一步を踏み出した感があります。学生の出品料無料化なども含め、今後さらに変革が進むと思われます。

しかし何より大事な事は、会員皆さんの充実した制作と、常に新鮮な志を維持出来る場としての展覧会を行っていく事であろうと思います。

1月に青枢有志で行われた実験02展(山脇ギャラリー)も、刺激的で素晴らしい展覧会になっていました。このような新たな試みも重要だと思います。

次の43回展、皆で力作を持ち寄り、大いに盛り上げて行きましょう。 米谷